

応急仮設住宅等住民説明会を開催



↑ 応急仮設住宅等住民説明会の様子

平成27年12月17日（木）から19日（土）までと21日（月）の4日間、いわき市にある応急仮設住宅集会所や広野町中央体育館などで計6回の応急仮設住宅等住民説明会を開催しました。また、1月17日（日）、18日（月）にも、広野町保健センターおよびいわき市内で、説明者に内閣府原子力災害対策本部、経済産業省資源エネルギー庁および双葉地方水道企業団を迎え、住民説明会を開催しました。

平成28年新春交歓会を開催



↑ 平成28年新春交歓会の様子

1月6日（水）、広野町中央体育館で平成28年広野町新春交歓会を開催し、約170人の関係者や町民が集い、新年のあいさつを交わしました。広野町文化協会茶道部会の呈茶サービスがお正月らしい雰囲気を醸し出しました。

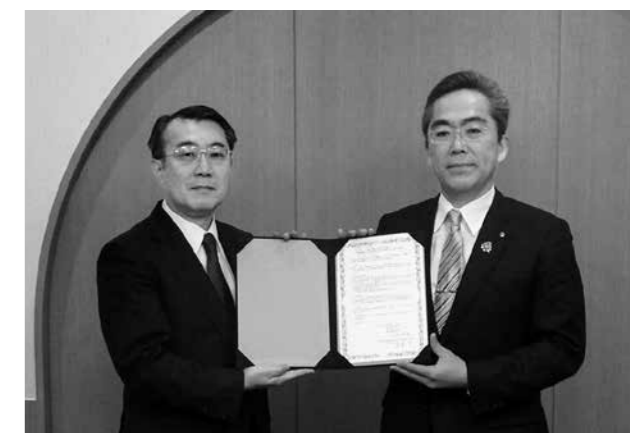
ひろの防災緑地活動協定書を締結



↑ ひろの防災緑地活動協定書締結の様子

1月14日（木）、広野町役場で特定非営利活動法人環境リレーションズ研究所、ひろの防災緑地サポーターズクラブ、福島県および広野町が、ひろの防災緑地活動協定書締結式を行い、鈴木敦子同研究所理事長、鈴木正範同クラブ会長、矢内誠一郎県富岡土木事務所長および遠藤町長が協定書に署名押印しました。この協定書によりひろの防災緑地の一面を「Present Tree in ひろの」と呼び、同研究所が植栽の里親を募集するなど、活動に参画していきます。

東京大学と学術協定を締結



↑ 東京大学との学術協定締結の様子

1月7日（木）、広野町は、東京大学安田講堂で、国立大学法人東京大学と広野町内の放射性物質による汚染の測定および除染の連携・協力を目的とした協定を締結し、遠藤町長と大和裕幸理事・副学長が協定書を取り交わしました。連携・協力の内容は、「放射性物質による汚染の測定および除染に係る計画の立案および推進」「東京大学アイソトープ総合センター職員の派遣と、放射線測定や除染に関する指導および助言」などです。

みかんを使った特産品開発に着手



↑ みかん収穫作業の様子

平成27年12月10日（木）、二ツ沼総合公園直売所組合が、町内大字折木地内の高倉みかん畑でみかんの収穫作業を行いました。収穫されたみかんは、風評被害払しょくのためのPR商品として、ジュース、ジャム、マーマレードに加工しました。同組合は、1月に静岡県伊東市の催し物で来場者に試飲してもらったほか、今月行われるひろのウィンターフェスティバル2016の会場でも、試飲を行う予定です。

「広野みらいオフィス」に名称決定



↑ 建設中の広野みらいオフィス

平成27年12月25日（金）、J R広野駅東口に建設中のオフィスビル（仮称）広野東口ビルの名称を「広野みらいオフィス」に決定しました。名称公募に対して94点の応募があり、その中から選考しました。浜通りおよび広野町の復興推進と活気ある街づくり創出の拠点に「みらい」という言葉に込めて、命名されたものです。

二ツ沼総合公園の風車をライトアップ



↑ ライトアップされた二ツ沼総合公園の風車

平成27年12月12日（土）、二ツ沼総合公園のシンボルである風車が発光ダイオード（LED）でライトアップされました。日産自動車株式会社の東日本大震災復興支援の一環として、同年8月から製作を進めてきた太陽光パネルで発電しています。

総務大臣感謝状を伝達



↑ 総務大臣感謝状を伝達された遠藤さん

平成27年12月21日（月）、広野町役場で前広野町選挙管理委員長の遠藤健太郎さんに対する総務大臣感謝状伝達式を行い、遠藤町長が感謝状を伝達しました。多年にわたる選挙の管理執行および明るい選挙の推進への精励が評価されたもので、遠藤さんは、町選挙管理委員を3期12年、同委員長を2期8年務め、12月22日（火）に任期満了で選挙管理委員を退任しました。